

承認第40号

(公財) 斎藤茂吉記念館令和5年度事業報告並びに計算書類等について

提案理由

(公財) 斎藤茂吉記念館定款第10条第1項の規定に基づき、令和5年事業報告を行うとともに計算書類等について承認を求めるものです。

第1 (公財) 斎藤茂吉記念館令和5年度事業報告

概要

郷土が生んだ偉大な歌人斎藤茂吉の功績を称えるとともに、茂吉に関連する作品・資料等の収集保存と多くの輝かしい業績を永く後世に伝え、地域の学芸及び文化の発展に寄与することなどを目的に館内展示内容の拡充、短歌界のすそ野を広げるための歌会、初心者向き公開講座、短歌作品の募集と応募作品の編集等を行った。

また、毎年開催している斎藤茂吉記念全国大会、特別展は、「没後70周年」を冠して開催した。

施設管理に関しては、常設展示室プロジェクターの更新、映像用プログラムタイマー交換、石碑等案内の1階壁面タッチパネル修繕などを行った。

1. 公益事業

(1) 斎藤茂吉に関する情報・資料等の展示事業 (斎藤茂吉記念館の公開)

ア 斎藤茂吉記念館の一般公開 (入館者実績)

○一般入館者	3,694人 (個人 2,974人 団体 720人)
○観光契約入館者	278人
○身障者 (付添者) 割引入館者	197人
○減額・免除・招待入館者	1,798人 (減額1,535人・免除147人・招待116人)
合計	5,967人 (開館日数 302日)

※ 休館日63日 (毎週水曜日、7月第2週の7日間、年末年始)

イ 常設展示・地階：常設展示室「茂吉の世界とその作品」

斎藤茂吉の足跡を辿りながら、数々の業績と魅力を伝えるため、茂吉自筆の書画、原稿、書簡、著書や茂吉の遺品などを展示するとともに、茂吉を深く理解していただくためにデジタル機器・グラフィック解説版を活用した展示も行った。

また、ふるさと山形・上山を愛し続けた茂吉をジオラマ等により紹介した。

ウ 常設展示・地階：映像展示室「斎藤茂吉の世界とその時代」

映像展示室において、斎藤茂吉の生涯を概観し常設展示資料を補足するための映像を定時的に上映した。(約18分間、デジタルハイビジョン画像/静止画)

展示室内には、映像解説資料「映像に出てくる斎藤茂吉のうた」を設置した。

エ 常設展示・1階：集会室「茂吉晩年の居室」展

斎藤茂吉が死去した居間・書斎 (晩年の居室) の展示、次男宗吉 (北 杜夫) 旧蔵の茂吉の遺骨を保管していた仏壇、骨壺 (遺骨は、令和4年5月に宝泉寺の

墓に埋骨した。)、骨箱類等の展示、茂吉晩年の様子を示すエピソードと密接に係る人々を紹介し関連する資料を展示した。

また、2番組の選択上映の映像展示「父・茂吉の思い出」と「茂吉追憶」さらに情報検索装置「茂吉アーカイブス・茂吉ライブラリー」を設置して茂吉に関連する情報等を提供した。

オ 常設展示・1階：ロビー「茂吉の人となり」「短歌とは／短歌全史」「斎藤茂吉短歌文学賞」「斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール」の展示

展示室入口壁面（階段・エレベーター通路脇）を利用して、タッチパネル式ディスプレイ（デジタルコンテンツ：斎藤茂吉記念館概説・茂吉全史／年譜・茂吉歌碑マップ）とグラフィックパネル（短歌とは・短歌全史／近代短歌の系譜・斎藤茂吉歌碑：全国・県内の歌碑分布図・建立数）を掲示した。

また、壁面のメッシュパネルに斎藤茂吉短歌文学賞の事業概要と各回受賞者、斎藤茂吉ジュニア短歌コンクールの事業概要と最新の入選作品200首（最優秀賞受賞作品6首、優秀作品52首を含む）を掲示した。

カ 常設設置・1階：ロビー「キッズサロン」「茂吉なりきり写真館」「茂吉短歌ポスト」等の設置

ロビーの一部に入館した子どもから大人まで楽しく遊びながら斎藤茂吉に親しむ空間として、茂吉短歌かるた、茂吉パズル、市販の学習遊具、絵本などを配置した「キッズサロン」、茂吉に変身して記念撮影を行う「なりきり写真館」、気軽に作歌して投稿する「茂吉短歌ポスト」及び茂吉自作短歌朗詠装置を設置した。

キ 常設展示・別棟（みゆき公園内）：書齋「箱根山荘の勉強部屋」設置

神奈川県箱根強羅の斎藤家別荘離れとして、茂吉が毎年夏に原稿等執筆のため利用した「箱根山荘の勉強部屋」と「移築記念碑」の設置に伴い、人感センサーによる自動音声解説装置（照明連動・グラフィック展示）を設置した。

ク 常設設置・「展示情報等音声解説機器／音声ガイド」の設置と活用

入館者へのサービス向上等を目的に施設概要・展示内容・作品鑑賞等の情報提供を行う音声解説機器（日本語解説15台、英語解説5台）の有料貸出を行った。

また、機器貸出時には、プログラムガイドを利用者に配布した。

令和5年度の貸出利用台数は、128台。

ケ 特別展・没後70周年特別展「MOKI CHI 壮年から晩年までを振り返る」

茂吉没後70周年の節目にあたり、斎藤茂吉の壮年から晩年・逝去に至るまでの様子とその時々的心情等を表した作品、資料をはじめ、没後刊行の遺歌集・全集等を含め、歌人・文学者として数々の業績を示した茂吉の姿を捉えその背景などを探求するため開催した。

※ 会期：令和5年4月29日（土）から同年8月31日（木）まで

※ 会場：守谷夫妻記念室

コ 特別展・「写真と絵画で観る斎藤茂吉」

斎藤茂吉が短歌の創作につながる絵画に関心を寄せ、親しみながら描いた作品をはじめ茂吉をモデルにした肖像写真・肖像画等を介して、茂吉の作歌姿勢、人となりを捉えながらその魅力について理解を深めていただくために開催した。

- ※ 会期：令和5年9月16日（土）から令和6年3月31日（日）まで
- ※ 会場：守谷夫妻記念室

（2）資料の収集保存・整理と調査・報告事業

ア 資料等の収集と収蔵品の管理

齋藤茂吉を中心とした作品・資料等の収集、寄託品を含む収蔵品を円滑に管理・活用するための調査と整理を行った。

	令和4年度	令和5年度／新規
○基本財産収蔵品（A評価資料）	2,498点	2,472点 +26点
○その他の収蔵資料（B評価、C評価資料）	3,889点	3,887点 +2点
○除外資料（工事等記録映像、一般歌集、図書等）	4,315点	(4,207点 +※108点)
○新規除外資料（図書資料のみ）		75点 (※108点) 75点
	合計	10,777点 : 10,674点 +103点
○寄託品資料（個人短期:963点/個人長期:171点/上山市:2,208点/山形県:1点）	合計	3,343点
収蔵資料数	総計	14,120点

※ 主要新規寄贈資料

- ・一尺物差し

齋藤茂吉次男齋藤宗吉（北 杜夫）氏の妻、喜美子氏より茂吉使用の「一尺物差し」の寄贈を受けた。

- ・手帳

齋藤茂吉長男齋藤茂太氏の長男、茂一氏より茂太氏の昭和20年から平成18年までの手帳の寄贈を受けた。

- ・土屋文明の色紙及び平福百穂の絵画

齋藤茂吉の門人黒江二郎氏の遺族から土屋文明の色紙及び平福百穂の絵画の寄贈を受けた。

イ 齋藤茂吉に関する調査研究・啓発・年次報告等のための印刷物発行

（ア）2022（令和4年）年度齋藤茂吉記念館年報 通巻第38号

1年のあゆみ、諸事業実績、法人運営、入館者状況、決算報告、新規資料等を掲載した。

※ A4判20頁（令和5年12月15日発行）

（イ）館報「茂吉記念館だより 没後70周年記念 第26号」

没後70周年座談会、館長随想、講座事業、特別展、収蔵資料紹介、短信（掲示板）等を掲載した。

※ A4判14頁（令和5年12月15日発行）

（3）学芸及び文化振興のための普及事業

ア 斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール

(ア) 第20回ジュニア短歌コンクール最優秀賞・優秀賞・入選の賞状授与

令和4年度第20回ジュニア短歌コンクール入選作品集「桜実」を編集するとともに没後70周年第49回斎藤茂吉記念全国大会の席上において、最優秀賞受賞者6名（小・中・高校の各部門2首／計6作品）の表彰式を行った。

また、県内外の優秀賞、入選の受賞者に賞状を郵送した。

(イ) 第21回ジュニア短歌コンクール作品募集と選考

○令和5年10月20日、斎藤茂吉記念館において主催者である山形県、上山市、上山市教育委員会、(公財)斎藤茂吉記念館の主催者打合会を開催、短歌作品応募要綱を策定した。

○短歌作品応募要綱

短歌作品の募集対象は、小・中・高校の児童、生徒
学校、短歌団体単位で一人一首まで

応募期間は、令和5年11月10日から令和6年1月12日まで

応募総数 9,800首（ 県内 4,326首 / 県外5,474首 ）

応募学校（団体）数 128校（ 県内 52校 / 県外 76校 ）

○選考委員による作品選考

・第一次選考 選者 山形県歌人クラブ会員 13氏

令和6年1月29日 200首選考

・第二次選考 選者 大瀧 保、田村 元、結城千賀子の3歌人

令和6年2月13日 45首選考

・最終選考 選者 大瀧 保、田村 元、結城千賀子の3歌人

令和6年2月17日 6首選考(小・中・高の各部門2首)

最終選考後、最優秀賞を発表し関係機関、報道機関等に通知した。

○最優秀賞表彰式

令和6年5月19日に開催する第50回斎藤茂吉記念全国大会において表彰するものとし優秀賞及び入選に対する表彰準備を行った。

最優秀賞、優秀賞、入選の該当者には、令和6年5月19日付の賞状を授与する。

(ウ) 入選作品集「桜実」の発行

最優秀、優秀、入選の作品全200首と最終選考委員の選評、最優秀賞受賞者のことばなどを掲載した作品集「令和5年度第21回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール入選作品集桜実（Sakurago）」を令和6年3月15日付で発行し、受賞者及び県内市町村教育委員会、応募協力校、図書館等に配布した。

※ A5判 53頁

(エ) 最優秀作品の掲示

令和4年度第20回の最優秀作品6首、優秀作品47首、入選作品147首の全200首を斎藤茂吉記念館内ロビー壁面に掲示した。

イ 公開講座

(ア) 茂吉入門

令和4年度の上山市市報「かみのやま」に連載された、秋葉館長寄稿の「茂吉入門／その魅力と偉大さ」の内容を主なテーマとした公開講座を開催した。

茂吉初心者講座として短歌初心者を対象に開催したもので、上山市内に在住する歌人の協力のもと秋葉館長が講師を務め、講座終了後には、館長をはじめ学芸員が特別展の展示作品等を解説するギャラリートークを行った。

○第1回

令和5年6月11日（日）午後1時30分から午後3時00分
斎藤茂吉記念館集会室等において開催、40名が参加した。

○第2回

令和5年11月12日（日）午後1時30分から午後3時00分
斎藤茂吉記念館集会室等において開催、30名が参加した。

(イ) 出前講座

○人麿の里全国万葉短歌大会

令和5年8月27日（日）、島根県益田市で開催された人麿の里全国万葉短歌大会において、秋葉館長が「館長10年 茂吉の歌と人」と題して記念講演。

○斎藤茂吉記念中川町短歌フェスティバル30周年記念フォーラム

令和5年10月8日（日）、北海道中川町で開催された斎藤茂吉記念中川町短歌フェスティバル30周年記念フォーラムにおいて、五十嵐学芸員が「斎藤茂吉の北海道 そしていくつかの小話、茂吉の最新研究からネット上のデマまで」と題して記念講演。

○第40回子規顕彰全国短歌大会

令和5年10月22日（日）、愛媛県松山市で開催された第40回子規顕彰全国短歌大会において秋葉館長が「歌人茂吉 人間茂吉 ～館長10年回顧～」と題して記念講演。

○斎藤茂吉没後70周年特別講座

令和5年11月26日（日）、NHK文化センター仙台教室（宮城県仙台市）開催の斎藤茂吉没後70周年特別講座「歌人茂吉・人間茂吉」において秋葉館長が講座。

ウ 茂吉短歌ポスト

短歌の普及拡大と啓発を目的に広く短歌作品を募集するため、斎藤茂吉記念館と上山市立図書館に短歌ポストを設置している。

応募作品は、県内歌人が選歌を行い、入選・佳作作品の表彰、記念品贈呈、作品集の編集等を行う。

令和5年度は、

第134回 大瀧 保 選 応募51首 入選3首、佳作5首

第135回 早坂 富美子 選 応募53首 入選3首、佳作5首

となっている。

作品集は、概ね200首を目途に作成しており令和5年度は編集を見合わせた。

エ ホームページの設置

斎藤茂吉記念館、斎藤茂吉に関する情報、事業に関する情報発信等を目的に公

式ホームページを設置して、随時情報を更新した。

オ 普及版パンフレット（令和6年度版）作成、配布

昨年度に続き斎藤茂吉記念館の利用案内、主な展示品、斎藤茂吉記念全国大会、茂吉忌合同歌会、特別展、公開講座等の催事、上山市内のマップ等を掲載したパンフレットを作成して、上山市内の宿泊施設、飲食店、観光施設等に配布した。

前年度と同様、パンフレット持参者の特典として、入館料金の割引（大人・学生100円引き、小人50円引き）を付した。

（4）歌会及び記念事業等、斎藤茂吉の業績顕彰の事業

ア 斎藤茂吉記念全国大会

没後70周年第49回斎藤茂吉記念全国大会を開催し、同記念歌集を編集作成した。

また、次年度開催予定の第50回斎藤茂吉記念全国大会の事業計画の策定及び大会への参加案内、記念歌集の短歌募集等を行った。

（ア）没後70周年第49回斎藤茂吉記念全国大会の開催

○開催日時

令和5年5月14日（日）午前9時30分から午後4時35分

○墓前行事

- ・上山市金瓶 宝泉寺
- ・参列者 斎藤家、全国大会主催者、運営委員等 30名
- ・主な行事

焼香、記念歌集第49集献上、墓参

○斎藤茂吉記念全国大会

- ・三友エンジニア体育文化センター エコーホール
- ・参加者 200名
- ・主な行事

第34回斎藤茂吉短歌文学賞贈呈式

第20回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール最優秀作品表彰式

没後70周年記念座談会

第一部 晩年の斎藤茂吉とその短歌

第二部 斎藤茂吉以後の短歌・歌人たち

登壇者 小島ゆかり、中川佐和子、佐佐木頼綱、雁部貞夫の4氏

（イ）斎藤茂吉記念歌集第49集の発行

全国大会の一般投稿作品667首とジュニア短歌コンクール入選作品200首を収載した斎藤茂吉記念歌集第49集を斎藤茂吉生誕日である令和5年5月14日付で発行した。

令和5年4月6日に編集委員である大瀧 保、鎌上順子、雁部貞夫、布宮雅昭、皆川二郎の5氏による歌集編集委員会を開催している。

（ウ）第50回斎藤茂吉記念全国大会事業計画策定及び大会参加案内、短歌募集等

○運営委員会

令和5年9月26日斎藤茂吉記念館集会室において第50回斎藤茂吉記念全国大会運営委員会を開催、大瀧 保、鎌上順子、雁部貞夫、布宮雅昭、皆川二郎の5氏に運営委員委嘱状を交付、大会行事内容、斎藤茂吉記念歌集第50集の編集方針、短歌募集要項、第50回斎藤茂吉記念全国大会以降の大会のあり方、今後の協議日程等について協議した。

○第50回斎藤茂吉記念全国大会

・開催月日

令和6年5月19日（日）

・主な行事

墓前行事（宝泉寺）

読経、焼香、記念歌集献上

記念行事（三友エンジニア体育文化センターエコーホール）

第35回斎藤茂吉短歌文学賞贈呈式

第21回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール最優秀作品表彰式

講話 斎藤茂吉記念全国大会の50年を顧みる 雁部 貞夫

斎藤茂吉記念歌集50年の歩み 皆川 二郎

連続出詠感謝状贈呈

第50回記念トークセッション「私のなかの斎藤茂吉」

登壇者 小池 光、小島ゆかり、三枝 昂之、永田 和宏

※ 大会参加事前申込者に限り5月17日から20日までの間、斎藤茂吉記念館入館料を無料とする。

○斎藤茂吉記念歌集第50集

投稿料1,500円、1人1首、題は自由として作品を募集した。

記念歌集には投稿された全ての作品（696首）を掲載する。

イ 斎藤茂吉短歌文学賞

（ア）第34回斎藤茂吉短歌文学賞受賞者

佐藤 通雅 歌集「岸边」（角川書店刊）

第49回斎藤茂吉記念全国大会において表彰

（イ）第35回斎藤茂吉短歌文学賞受賞者

玉井 清弘 歌集「山水」（短歌研究社刊）

ウ 第57回茂吉忌合同歌会

茂吉忌合同歌会は、例年、斎藤茂吉の顕彰と山形県内歌壇等の振興・交流を図ることなどを目的に茂吉を偲ぶ超結社の歌会として茂吉の命日である2月25日に近い日曜日に開催しており、令和6年2月25日（日）に開催した。

（ア）主催者打合せ

令和5年10月31日（火）に主催者である上山市教育委員会、山形県歌人クラブ、（公財）斎藤茂吉記念館の打合会を開催、行事内容、役割分担、選者、投稿要綱、予算等について協議した。

（イ）第57回茂吉忌合同歌会

○開催場所、参加者

齋藤茂吉記念館集会室 60名

○主な行事

- ・選者歌評 大瀧 保、布宮雅昭、山川ひろみの3氏が歌評を行った。
- ・選者賞発表 各選者が選んだ特選（1首）及び入選（2首）を発表した。
- ・選者講評 選者が特選及び入選作品の講評を行った。
- ・選者賞表彰 特選3名、入選6名を表彰した。

(ウ) 第57回茂吉忌合同歌会作品集、同入選作品集

○第57回茂吉忌合同歌会作品集

令和6年2月25日発刊

107首掲載 B5版8頁

○第57回茂吉忌合同歌会入選作品集

令和6年2月25日発刊

特選3首、入選6首掲載、B5版二つ折り

(5) 関連団体等の文化活動に対する協力

ア 団体・専門機関・出版社等に対する資料の貸与、調査、写真資料掲載等のための協力

○写真資料の貸与及び印刷物等掲載に承認 申請許可数 6件／点数 67点

○資料撮影（館内撮影）・転載（掲載）の承認 申請許可数 0件／点数 0点

○収蔵資料の貸出及び展示の承認 申請許可数 1件／点数 1点

※ 主な協力内容

- ・最上徳内記念館企画展「祈り熊野勸進十界曼荼羅絵解きと信仰展」

令和5年8月11日から9月12日まで最上徳内記念館において開催された企画展に茂吉が熊野本宮大社（和歌山県）に詣でた際の随筆「遍路」を貸出した。

- ・共同通信「再現日録 大震災の9月」

共同通信社が令和5年8月20日から9月20日まで関東大震災100周年企画として配信した「再現日録 大震災の9月」の9月13日配信記事において、ドイツ留学中の茂吉を取り上げ、貸与した写真資料が記事の併用写真として掲載された。

- ・秋田テレビ番組「秋田人物伝」

令和5年10月28日、秋田テレビが放映した「秋田人物伝～ふるさとの画家～」の番組内で平福百穂を取り上げ、その中で茂吉との交友を紹介したもので、貸与した平福百穂のアトリエで撮影された茂吉の写真が放映された。

イ 外部団体（個人）の依頼による齋藤茂吉関連の調査等への協力

○資料持ち込みによる内容調査

○個人・団体発行の冊子、広報紙への執筆及び情報、資料等の提供

○齋藤茂吉歌碑建立に伴う情報提供と資料調査

ウ 各種団体の文化活動に対する協力

(ア) 第7回U-39やましん紙上歌会

山形新聞社主催により令和5年4月14日から同年9月15日まで、小・中・高校生及び一般を対象に行った短歌作品募集について、応募作品審査、表彰等の後援を行った。

(イ) 案内リーフレット作成協力

山形市立蔵王第二小学校及び同校教育後援会・同窓会・創立百周年記念事業実行委員会編集発行（令和5年7月27日発行）の「斎藤茂吉コーナー あかね館 茂吉の母校を訪ねる」の案内リーフレット作成に協力した。

(ウ) 斎藤茂吉記念第30回中川町短歌フェスティバル

北海道中川郡中川町教育委員会主催により短歌フェスティバルの一環として行った令和5年6月1日から同年7月20日までの短歌作品募集について、応募作品審査等の後援を行ったほか、10月8日に開催された斎藤茂吉記念中川町短歌フェスティバル30周年記念フォーラムにおいて、五十嵐学芸員が記念講演を行った。

(エ) かみのやま博物館連絡会

令和元年10月1日から上山市、上山市教育委員会、上山市観光物産協会、明日のそばを語る会の協力を得て、上山市内にある上山城、蟹仙洞、斎藤茂吉記念館の3館共通入館券と旧尾形家住宅、武家屋敷三輪家、脇本陣・滝沢屋への団体料金での入館、明日のそばを語る会加盟店での飲食代割引等の特典を付した「KAMINOYAMA WELCOME PASSPORT」を1,200円で販売している。

2 頒布事業

(1) 公益事業の推進に資するための斎藤茂吉記念館内における頒布事業

令和3年度より「上山市ふるさと納税制度」に基づく返礼品に斎藤茂吉記念館内の頒布品を登録して、物販業務の拡大に努めている。

また、斎藤茂吉記念館内展示資料等に関連するものを中心とした自主作製の製品81種（有料）の頒布にも努めた。

見学者に有益である資料について、関連業者からの委託頒布（30種 有料）も行った。

3 法人運営及び施設管理事業

(1) 法人運営（公益財団法人の運営体制の整備等）

ア 斎藤茂吉記念館友の会に関する規程に基づく運営、事業

斎藤茂吉記念館に対する協力及び理解を高め、事業活動の推進に資することを目的として、斎藤茂吉記念館開館50周年を記念し平成29年度に制定した公益財団法人斎藤茂吉記念館友の会に関する規程に基づき入会の勧誘促進と周知等の事業を継続的に推進した。

イ 斎藤茂吉記念館優待券の交付

斎藤茂吉記念館の公益的運営等を円滑に推進するため、関係団体や協力者等を

対象として継続的に交付している斎藤茂吉記念館優待券（無料入館）を令和5年12月26日更新交付した。

また、斎藤茂吉記念館に高く貢献（資料寄贈・寄託者等）している個人、団体等を新たに対象に加えて交付した。

有効期限は、令和7年12月27日まで。

ウ 公益財団法人斎藤茂吉記念館大使の任命

斎藤茂吉及び斎藤茂吉記念館の普及、周知等のために斎藤茂吉の親族を対象として大使を任命しており、任期は、令和4年4月1日から令和6年3月31日までとなっている。

大使は、茂吉の孫で

長男 斎藤茂太氏の長男 斎藤茂一氏

次男 斎藤宗吉（北 杜夫）氏の長女 斎藤由香氏

の2名である。

エ 斎藤茂吉の親族等に対する対応

金瓶学校保存会による上山市金瓶宝泉寺の斎藤茂吉の墓所及び周辺の管理、整備等の活動を支援した。

(2) 施設管理等の整備拡充事業

ア 管理規則第3条第1項の各号に基づく休館及び休館期間中の活動

(ア) 休館日

毎週水曜日、国民の祝日に関する法律第3条第2項に規定する振替休日（前記規定の休館日が重なる場合はその翌日）、12月28日から1月3日まで及び7月第2週の7日間。

(イ) 7月の休館日活用

7月2日から8日までの休館日を活用して館内清掃、電気保安検査、看板点検、研修会等を行った。

イ 斎藤茂吉記念館施設、設備等の管理

- 事務用パソコン1台設置（4月1日）
- 映像用プログラムタイマー交換（4月27日）
- 常設展示室プロジェクター交換（5月9日）
- 常設展示室入口映像プロジェクター修理（6月17日）
- 常設展示室入口映像プロジェクター電源、回路システム変更（7月5日）
- 1階壁面タッチパネル修繕（8月3日）
- 浄化槽ブロワーベルト交換（8月28日）
- 館内エレベーター設備機器と周辺設備の定期点検（通年）
- 多目的トイレの利用案内、管理（通年）
- その他、建物内外のバリアフリー箇所の案内と管理（通年）

4 経過報告

〈令和5年〉

- | | |
|--------|---|
| 4月 1日 | 山形県知事に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づき定款の一部変更（基本財産の変更）に係る届出書を提出 |
| 4月 1日 | 職員の昇給辞令（業務係主事兼学芸員、学芸員、庶務係員）、嘱託職員
の採用、任命辞令交付（事務局長、庶務係専門員、専門支援員、業務係） |
| 5月26日 | 令和4年度山形県博物館事業共催負担金実績報告書の現地検査
（検査員：山形県観光文化スポーツ部文化スポーツ振興課職員2名） |
| 6月 1日 | 令和4年度業務執行監査（斎藤茂吉記念館 監事2名） |
| 6月13日 | （公財）斎藤茂吉記念館第42回理事会（書面決議）
○承認事項
承認第36号
（公財）斎藤茂吉記念館令和4年度事業報告並びに計算書類等について
○決議事項
議第122号
（公財）斎藤茂吉記念館第35回評議員会の招集について
○報告事項
職務執行報告について ・事業執行状況 ・入館者状況
令和4年度資金運用状況報告について |
| 6月27日 | （公財）斎藤茂吉記念館第35回評議員会（上山市役所）
○承認事項
承認第75号
（公財）斎藤茂吉記念館令和4年度事業報告並びに計算書類等について
○決議事項
議第68号
（公財）斎藤茂吉記念館評議員の選任について
○報告事項
職務執行報告について ・事業執行状況 ・入館者状況
令和4年度資金運用状況報告について |
| 7月 2日 | 管理規則第3条の規定に基づく休館（7月8日までの7日間） |
| 8月 9日 | 山形県知事に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づき変更（評議委員の変更）に係る届出書を提出 |
| 8月17日 | 山形県教育委員会に改正博物館法に基づく博物館登録申請書提出 |
| 10月 3日 | （公財）斎藤茂吉記念館第43回理事会（斎藤茂吉記念館）
○決議事項
議第123号
（公財）斎藤茂吉記念館第36回評議員会の招集について
○報告事項 |

- 職務執行報告について ・事業執行状況 ・入館者状況
資金運用状況報告について
- 10月19日 改正博物館法に基づく博物館登録申請が「山形第1号」として承認
- 10月24日 (公財) 斎藤茂吉記念館第36回評議員会 (斎藤茂吉記念館)
- 決議事項
議第69号
(公財) 斎藤茂吉記念館定款の一部変更について
- 報告事項
職務執行報告について ・事業執行状況 ・入館者状況
資金運用状況報告について
- 11月27日 山形県知事に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に
基づき定款の一部変更(公益目的事業を行うために不可欠な特定財産
の件数変更)に係る届出書を提出
- 〈令和6年〉
3月5日 (公財) 斎藤茂吉記念館第44回理事会 (斎藤茂吉記念館)
- 承認事項
承認第37号
(公財) 斎藤茂吉記念館令和6年度事業計画並びに収支予算について
承認第38号
基本財産(公益目的事業を行うために不可欠な特定財産以外のもの)
の除外について
承認第39号
(公財) 斎藤茂吉記念館令和6年度資金運用計画について
- 決議事項
議第124号
(公財) 斎藤茂吉記念館第37回評議員会の招集について
議第125号
(公財) 斎藤茂吉記念館慶弔規程の制定について
議第126号
(公財) 斎藤茂吉記念館給与規程の給料表改定について
議第127号
重要な使用人の選任について
- 報告事項
職務執行報告について ・事業執行状況 ・入館者状況
- 3月26日 (公財) 斎藤茂吉記念館第37回評議員会 (斎藤茂吉記念館)
- 承認事項
承認第76号
(公財) 斎藤茂吉記念館令和6年度事業計画並びに収支予算について
承認第77号
基本財産(公益目的事業を行うために不可欠な特定財産以外のもの)

の除外について

承認第78号

(公財) 斎藤茂吉記念館令和6年度資金運用計画について

承認第79号

(公財) 斎藤茂吉記念館慶弔規程の制定について

承認第80号

(公財) 斎藤茂吉記念館給与規程の給料表改定について

○決議事項

議第70号

(公財) 斎藤茂吉記念館定款の一部変更について

○報告事項

職務執行報告について ・ 事業執行状況 ・ 入館者状況

3月12日

山形県知事に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づき令和6年度事業計画・収支予算書等に係る届出書を提出

5 役員に関する事項

(1) 理事

代表理事	清野伸昭
理事	晋道純一
理事	佐藤信幸
理事	平井康博
理事	五十嵐庄七
理事	土屋講一
業務執行理事	會田啓一

(2) 監事

監事	川合賢助
監事	井上真一

(3) 評議員

評議員	横戸長兵衛 (令和5年6月27日辞任)
評議員	山本幸靖 (令和5年6月27日就任)
評議員	長澤長右衛門 (令和5年6月27日辞任)
評議員	大沢芳朋 (令和5年6月27日就任)
評議員	横戸隆
評議員	大瀧保
評議員	山川庸久
評議員	後藤恒裕
評議員	松本佳子